

第6学年 単元別学習内容一覧

◎ 算数のとびら（算数の学習の進め方）					
目 標					指導時数・時期
○ 長方形内部の図形の面積の大小比較について、図、式、ことばなどを関連づけて考えたり筋道立てて説明しあったりすることを通して割合についての理解を深めるとともに、学びを深めあう算数学習の進め方のよさに気づき今後の学習にいかそうとする態度を養う。					1時間 2学期制：4月上旬 3学期制：4月上旬
評 価					
(知) ・算数の学習を進める手順を知り、図、式、ことばなどを用いて考えたり、説明したり、話しあったりすることのよさを理解している。					
(思) ・図、式、ことばなどを関連づけて考えたり、わかりやすく筋道立てて説明したりしている。					
(態) ・自らが主体となる学習の進め方に関心をもち、話し合い活動や発表に進んで取り組んでいる。学習を進める手順や話し合いの仕方などをふり返り、これからの学習にいかそうとしている。					
小単元	時	ページ	目 標	学習内容	おもな評価規準
(課題設定)	1	4～9	○面積の大きさを比べる学習を通して、自分で考えるときの方法や説明の仕方、友だちとの話し合いの仕方等算数学習の進め方を知る。 ○自分で考え、みんなで話し合う算数学習の進め方のよさに気づく。	・学習の進め方 ・台形や平行四辺形の形をした図形の面積の求め方の工夫 ・ノートのかき方 ・数学的な見方・考え方	(思判表)形の特徴に目をつけて面積の比べ方を考えたり、ことばや図などを用いてわかりやすく順序立てて説明したりしている。《発言・観察》 (態度)学習を進める手順や話し合いの仕方などをふり返り、これからの学習にいかそうとしている。《観察・ノート》

1 対称な図形					
目 標					指導時数・時期
○ 図形の対称性について、図形を折り重ねたり回したりする活動を通して線対称や点対称の意味を理解し、対称な図形の性質や作図の仕方を考えたり多角形の対称性を調べたりすることを通して、平面図形の見方・考え方を深めるとともに生活や学習に活用しようとする態度を養う。					9時間 2学期制：4月上旬～4月下旬 3学期制：4月上旬～4月下旬
評 価					
(知) ・操作活動を通して線対称・点対称な形について理解し、対称の軸や対称の中心、対応する点や直線を見つけたり、対称な図形を作図したりすることができる。					
(思) ・平面図形の構成要素の対応に着目し、対称の軸や対称の中心を見いだしたり、対称な図形のかき方を考えたりしている。また、対称性の観点から多角形の特徴を考えている。					
(態) ・対称な図形に進んで関わり、ふり返りを通して既習の合同な図形の見方と関連づけて対称性をとらえられることや対称性に着目することのよさに気づき、生活や学習にいかそうとしている。					
小単元	時	ページ	目 標	学習内容	おもな評価規準
じゅんぴ	—	250	○既習事項の理解を確かめる。	・5年「合同な図形」	
(課題設定)	1	10～11 12～13	○身のまわりの整った形の特徴に気づき、対称性について調べていくという単元の課題をつかむ。 ○アルファベットの形について調べ、特徴に目をつけて仲間分けする。	・対称な図形の学習への動機づけ ・折ったり回したりしたときに重なるかどうかによる図形の分類	(態度)身のまわりにあるものの形に進んで関わり、折ったり回したりする操作を通して形の特徴を調べようとしている。《観察・発言》
①線対称	2	14～15	○線対称の意味を理解し、対称の軸で折り重ねたときに重なる点や直線を調べる。	・線対称な図形と対称の軸の定義、線対称な図形の点や線の対応 ・身のまわりの線対称な形 《線対称、対称の軸》 《対応する点、線、角》	(知技)線対称の意味を理解し、対応する点、線、角を見つけることができる。《発言・ノート》 (思判表)線対称の意味にもとづいて、線対称かどうかを考えたり説明したりしている。《発言・ノート》
	3	16	○対称の軸に着目し、線対称な図形の性質を調べる。	・線対称な図形の性質	(思判表)対称の軸に着目して、線対称な図形の性質を見いだしている。《発言・観察》
	4	17	○線対称な図形の性質を用いて、線対称な図形をかきことができる。	・線対称な図形の作図	(知技)線対称な図形を作図することができる。《観察・ノート》
②点対称	5	18～19	○点対称の意味を理解し、対称の中心で回して重ねたときに重なる点や直線を調べる。	・点対称な図形と対称の中心の定義、点対称な図形の点や線の対応 《点対称、対称の中心》	(知技)点対称の意味を理解し、対応する点、線、角を見つけることができる。《発言・ノート》 (思判表)点対称の意味にもとづいて、点対称かどうかを考えたり説明したりしている。《発言・ノート》
	6	20	○対称の中心に着目し、点対称な図形の性質を調べる。	・点対称な図形の性質	(思判表)対称の中心に着目して、点対称な図形の性質を見いだしている。《発言・観察》
	7	21	○点対称な図形の性質を用いて、点対称な図形をかきことができる。	・点対称な図形の作図	(知技)点対称な図形を作図することができる。《観察・ノート》

③多角形と対称	8	22～23	○対称性の観点から既習の図形をとらえ直し、対称の軸の数、対称の中心を見つけることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな三角形や四角形の対称性 ・正多角形の対称性 ・円の対称性 	<p>(思判表)多角形について線対称や点対称かどうかを判断したり、対称の軸や対称の中心を見いだしたりしている。《発言・ノート》</p> <p>(態度)多角形の対称性をふり返り、対称かどうかに着目して図形の特徴をとらえることよき気づき、生活や学習にいかそうとしている。《発言・観察》</p>
学びのまとめ	9	24～25	○学習内容の理解を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ・たしかめよう、ふりかえろう、やってみよう 	(知技)、(思判表)、(態度)

2 文字と式					
目 標				指導時数・時期	
○数量やその関係について、 x や y を使って式に表したり文字式の意味を具体的に即して考えたりすることを通して、文字を使った式の理解や対応する値を求めることができるようにするとともに、生活や学習に活用しようとする態度を養う。				7時間 2学期制：4月下旬～5月中旬 3学期制：4月下旬～5月中旬	
評 価					
(知)・○や△などの代わりに x や y などの文字を用いることを理解し、文字を使って数量やその関係を式に表したり、 x や y に数をあてはめて対応する x や y の値を求めたりすることができる。					
(思)・問題場面から数量の関係を見だして文字を使って式に表したり、文字を使って表された式の意味を具体的に即していろいろに読み取ったりしている。					
(態)・文字を使って式に表すことに進んで関わり、ふり返りを通して x や y などの文字を使って数量やその関係を簡潔に表すことよき気づき、生活や学習にいかそうとしている。					
小単元	時	ページ	目 標	学習内容	おもな評価規準
じゅんぴ (課題設定)	—	242	○既習事項の理解を確かめる。	・5年「変わり方」	
①文字を使った式	1	26	○既習の○や△の代わりに x や y などの文字が使えることを知り、単元の課題をつかむ。	・文字を使うことの意味と学習の動機づけ	(態度)問題場面から数量の関係を見いだし、既習の○や△を使った式をもとに x や y を用いて数量やその関係を式に表そうとしている。《ノート・発言》
		27～28	○ x や y を使って式に表したり、 x や y の値を求めたりすることができる。	・ x や y を使って数量やその関係を式に表し、 x や y に数をあてはめて対応を調べること 《 x の値、 y の値》	(知技) x や y に数をあてはめて、それに対応する x や y の値を求めることができる。《ノート》
	2	29	○ x や y を使ってやや複雑な数量の関係を式に表し、 x の値に対応する y の値を求めることができる。	・やや複雑な数量の関係($y=ax+b$)を x や y を使って式に表し、 x や y に数をあてはめて対応を調べること	(思判表)やや複雑な数量の関係を x や y を用いて表したり、対応する値の求め方を考えたりしている。《観察・ノート》 (知技) x や y を用いて数量やその関係を式に表し、 x と y の対応する値を求めることができる。《ノート・発言》
●練習	3	30	○ x や y を使って数量の関係を式に表し、 x の値が小数の場合の y の値を求めることができる。	・文字を使った式に小数をあてはめて調べること	(知技) x の値が小数のときにもそれに対応する y の値を求めることができる。《観察・ノート》 (態度)数量の関係を x や y を用いて式に表すことよき気づき、学習にいかそうとしている。《ノート・発言》
				4	31
②式のよみ方	5	32	○ある数量を x としてつくった式から、具体的事象を読み取ることができる。	・文字を使った式から、具体的事象をよみ取ること	(思判表) x を用いて数量を表した式の意味を、具体的に即して考えたり説明したりしている。《観察・ノート》
				6	33
学びのまとめ	7	34～35	○学習内容の理解を確認する。	・たしかめよう、ふりかえろう、やってみよう	(知技)、(思判表)、(態度)

3 分数×整数、分数÷整数					
目 標				指導時数・時期	
○分数と整数の乗除について、その意味や仕方を考えたり説明したりすることを通して、分数と整数の乗除計算できるようにするとともに、生活や学習に活用しようとする態度を養う。				3時間 2学期制：5月中旬 3学期制：5月中旬	
評 価					
(知)・分数に整数をかけたり、整数でわったりする計算ができる。					
(思)・分数に整数をかけたり、整数でわったりする計算について、分数の意味や図をもとに考えている。					
(態)・分数に整数をかけたり、整数でわったりする計算に進んで関わり、ふり返りを通して分数の意味から計算の仕方を考えることや計算過程で約分することよき気づき、生活や学習にいかそうとしている。					

小単元	時	ページ	目 標	学習内容	おもな評価規準
じゅんび	—	242	○既習事項の理解を確かめる。	・5年「分数」	
(課題設定)	1	36	○既習の計算をもとに(分数)×(整数)を立式し、単元の課題をつかむ。	・分数×整数の立式と学習の動機づけ	(態度)分数×(整数)の計算の仕方を、分数の意味や図から考えようとしている。《発言・観察》
		37	○(分数)×(整数)の計算の仕方を考えることができる。	・分数×整数の計算の仕方(約分なし)	(知技)分数×(整数)の計算をすることができる。《ノート》
	2	38	○(分数)×(整数)で、途中で約分できるとき計算の仕方を考えることができる。	・分数×整数の計算の仕方(約分あり)	(思判表)約分ができる(分数)×(整数)の計算の仕方を考えたり説明したりしている。《発言・ノート》
	3	39~40	○(分数)÷(整数)を立式し、その計算の仕方を考えることができる。	・分数÷整数の立式とその計算の仕方(分子を整数で割る) ・分数÷整数の立式とその計算の仕方(分母に整数をかける)	(思判表)分数÷(整数)の計算の仕方を、分数の意味や図から考えたり説明したりしている。《発言・観察》 (知技)分数÷(整数)の計算をすることができる。《ノート》

* 復習

小単元	時	ページ	目 標	学習内容	おもな評価規準
	1	41	○既習事項の確認と持続	・復習	

4 分数×分数

			目 標	指導時数・時期	
○ 分数をかける計算や逆数について、その意味や仕方を考えたり説明したりすることを通して分数のかけ算になる場面をとらえて計算できるようにするとともに、生活や学習に活用しようとする態度を養う。				12時間	2学期制：5月中旬～6月上旬 3学期制：5月中旬～6月上旬
			評 価		
(知)・分数をかける計算の意味を理解し、計算することができる。また、逆数の意味や分数の計算においても交換法則や結合法則、分配法則が成り立つことを知る。					
(思)・分数に分数をかける計算の意味や仕方について、分数に整数をかけたり整数でわったりする既習の場合をもとにして筋道立てて考えている。					
(態)・分数に分数をかける計算に進んで取り組み、ふり返りを通して見いだした計算の仕方のよさや計算のきまりが整数や小数と同じように成り立つことに気づき、生活や学習にいかそうとしている。					
小単元	時	ページ	目 標	学習内容	おもな評価規準
じゅんび	—	243	○既習事項の理解を確かめる。	・5年「小数のかけ算」「分数」 ・6年「分数×整数、分数÷整数」	
(課題設定)	1	42	○分数をかけるかけ算について考えていくという単元の課題をつかむ。	・分数をかける学習の動機づけ	(態度)分数に整数をかける計算をもとに、分数をかける式や計算について考えようとしている。《発言・観察》
①分数をかける計算		43	○(分数)×(単位分数)の場面を式に表し、乗法の意味について考え、理解することができる。	・(分数)×(単位分数)の立式とその根拠	(思判表)図を用いるなどして数量の関係に着目し、分数をかける式の意味を考えたり説明したりしている。《観察・発言》
	2	44	○(分数)×(単位分数)の計算の仕方を考えることができる。	・(分数)×(単位分数)の計算の仕方	(思判表)図から見通しを立てたり、乗法の性質をもとにしたりして、計算の仕方を考えたり説明したりしている。《発言・ノート》 (知技)分数×(単位分数)の計算ができる。《ノート》
	3	45	○(分数)×(分数)の計算の仕方を考え、理解することができる。	・(分数)×(分数)の立式と計算の仕方	(思判表)図から見通しを立てたり、乗法の性質をもとにしたりして、計算の仕方を考えたり説明したりしている。《発言・ノート》 (知技)分数×(分数)の計算の仕方を理解している。《ノート》
	4	46	○(整数)×(分数)や(帯分数)×(帯分数)の計算をすることができる。	・整数や帯分数を含む分数のかけ算	(知技)整数×(分数)の計算ができる。《ノート》 (知技)帯分数×(帯分数)の計算ができる。《ノート》
	5	47	○小数と分数が混合したかけ算の仕方を理解し、その計算ができる。	・小数と分数のかけ算 ・小数と分数の3口のかけ算	(思判表)整数や小数と分数の関係に着目し、整数や小数と分数が混合したかけ算の仕方を考えている。《発言・ノート》 (態度)分数のかけ算の仕方のよさに気づき、学習にいかそうとしている。《発言・観察》

	6	48	○被乗数と積の大小関係を調べ、乗数の大きさによることを理解する。	・乗数と積の大きさの関係	(知技)乗数と積の大きさの関係を理解している。《観察・発言》 (思判表)乗数の大きさをもとに、積の大小関係を判断している。《ノート》
●練習	7	49	○学習内容を確実に身につける。	・練習	
②分数のかけ算を使って	8	50	○辺の長さが分数の場合にも、面積や体積の求積公式が使えることを確かめることができる。	・辺の長さが分数の場合の面積や体積の求積	(思判表)辺の長さが分数の場合にも求積公式が使えることを、論理立てて考えたり説明したりしている。《発言・観察》 (知技)辺の長さが分数の場合にも求積公式が使えることを理解し、適用している。《ノート》
	9	51	○分数で表された時間について理解し、それを使った問題を解くことができる。	・分数で表された時間を分に直す問題 ・時間を分数で表して解決する問題(速さ)	(知技)時間を分数で表せることを理解し、時間の単位換算ができる。《ノート》 (態度)分数のかけ算を適用して、問題解決しようとしている。《ノート・発言》
	10	52	○逆数の意味を理解し、逆数を求めることができる。	・逆数の意味、分数・整数・小数の逆数の求め方 《逆数》	(知技)逆数の意味を理解している。《発言・ノート》 (知技)分数、整数、小数の逆数を求めることができる。《ノート》
	11	53	○分数の場合にも分配法則や交換法則、結合法則が成り立つことを確認し、それらを適用して工夫して計算することができる。	・分数の計算の交換法則、結合法則、分配法則	(知技)計算法則を適用して、手際よく分数の計算をすることができる。《ノート》 (態度)計算法則などの整数の場合に学んだことが分数の場合にも成り立つことに気づき、学習にいかそうとしている。《ノート》
学びのまとめ	12	54～55	○学習内容の理解を確認する。	・たしかめよう、ふりかえろう、やってみよう	(知技)、(思判表)、(態度)

5 分数÷分数

目 標						指導時数・時期
○ 分数でわる計算について、その意味や仕方を考えたり説明したりすることを通して分数のわり算になる場面をとらえて計算できるようにするとともに、生活や学習に活用しようとする態度を養う。						11 時間 2 学期制：6月中旬～6月下旬 3 学期制：6月中旬～6月下旬
評 価						
(知) ・分数でわる計算の意味を理解し、計算することができる。						
(思) ・分数を分数でわる計算の意味や仕方について、分数に整数をかけたたり整数でわったりする既習の場合をもとにして筋道立てて考えている。						
(態) ・分数を分数でわる計算に進んで取り組み、ふり返りを通して見いだした計算の仕方のよさに気づき、割合が分数で表される場面に適用するなど生活や学習にいかそうとしている。						
小単元	時	ページ	目 標	学習内容	おもな評価規準	
じゅんび	—	243	○既習事項の理解を確かめる。	・5年「小数のわり算」 ・6年「分数×分数」		
(課題設定)	1	56	○分数でわるわり算について考えていくという単元の課題をつかむ。	・分数でわる学習の動機づけ	(態度)分数を整数でわる計算をもとに、分数でわる式や計算について考えようとしている。《発言・観察》	
①分数でわる計算		57	○(分数)÷(単位分数)の場面を式に表し、除法の意味について考え、理解することができる。	・(分数)÷(単位分数)の立式とその根拠	(思判表)図を用いるなどして数量の関係に着目し、分数でわる式の意味を考えたり説明したりしている。《観察・発言》	
	2	58	○(分数)÷(単位分数)の計算の仕方を考えることができる。	・(分数)÷(単位分数)の計算の仕方	(思判表)除法の性質をもとにして、計算の仕方を考えたり説明したりしている。《発言・ノート》 (知技)(分数)÷(単位分数)の計算ができる。《ノート》	
	3	59	○(分数)÷(分数)の計算の仕方を考え、理解することができる。	・(分数)÷(分数)の立式と計算の仕方	(思判表)除法の性質をもとにして、除数の逆数を使って計算の仕方を考えたり説明したりしている。《発言・ノート》 (知技)(分数)÷(分数)の計算の仕方を理解している。《ノート》	
	4	60	○(帯分数)÷(分数)や(整数)÷(分数)の計算をすることができる。	・帯分数や整数を含む分数のわり算	(知技)(帯分数)÷(分数)の計算ができる。《ノート》 (知技)(整数)÷(分数)の計算ができる。《ノート》	

	5	61	○小数と分数が混合したわり算の仕方を理解し、その計算ができる。	・小数と分数のわり算 ・乗除混合の3口の計算	(思判表)整数や小数と分数の関係に着目し、整数や小数と分数が混合したわり算の仕方を考えている。《発言・ノート》 (態度)分数のわり算の仕方のよさに気づき、学習にいかそうとしている。《発言・観察》
	6	62	○被除数と商の大小関係を調べ、除数の大きさによることを理解する。	・除数と商の大きさの関係	(知技)除数と商の大きさの関係を理解している。《観察・発言》 (思判表)除数の大きさをもとに、商の大小関係を判断している。《ノート》
●練習	7	63	○学習内容を確実に身につける。	・練習	
②割合を表す分数	8	64・65	○数量の関係が分数倍(割合)で表された場面で、比較量を求めることができる。	・割合が分数で表された問題(第2用法)	(態度)2つの数量の関係に着目し、図や式を使って割合が分数で表される場合について考えようとしている。《発言・ノート》 (知技)割合が分数で表された場合の比較量を求めることができる。《ノート》
	9	66	○数量が分数で表された場面で、分数倍(割合)を求めることができる。	・割合が分数で表された問題(第1用法)	(思判表)2つの数量の関係に着目し、図や式を使って考えたり説明したりしている。《発言・ノート》 (知技)2つの数量の関係に着目し、図や式を使って考えたり説明したりしている。《発言・ノート》
	10	67	○割合が分数で表された場面で、基準量を求めることができる。	・割合が分数で表された問題(第3用法)	(知技)割合や数量が分数で表された場合の基準量を求めることができる。《ノート》 (態度)割合が分数で表される場合の問題解決をふり返り、分数を生活や学習にいかそうとしている。《ノート・発言》
学びのまとめ	11	68～69	○学習内容の理解を確認する。	・たしかめよう、ふりかえろう、やってみよう	(知技)、(思判表)、(態度)

6 場合を順序よく整理して					
目 標					指導時数・時期
○ 場合の数について、落ちや重なりのないように図や表を用いて調べたり場合を整理して考えたりすることを通して、場合の数を求めたり条件に合う場合を見つけたりすることができるようにするとともに、生活や学習に活用しようとする態度を養う。					9時間 2学期制：6月下旬～7月中旬 3学期制：6月下旬～7月中旬
評 価					
(知)・組み合わせや並べ方を順序よく整理して調べることができる。また、落ちや重なりのないように調べるためには、観点をきめたり、図や表を工夫したりして調べればよいことを理解している。					
(思)・組み合わせや並べ方を順序よく整理し、落ちや重なりのないように調べる方法を考えている。また、すべての場合のうち、条件に合うものを考え、判断している。					
(態)・場合の数を調べることに進んで関わり、ふり返りを通して落ちや重なりのないように図や表を使って順序よく整理することのよさに気づき、生活や学習にいかそうとしている。					
小単元	時	ページ	目 標	学習内容	おもな評価規準
じゅんび (課題設定)	—	243	○既習事項の理解を確かめる。	・5年「整数」	
①場合の数の調べ方	1	70	○試合の組み合わせ方を考えることを通して、場合の数について調べていくという単元の課題をつかむ。	・場合の数の学習の動機づけ	(態度)落ちや重なりがないように調べる方法を考えようとしている。《観察・ノート》
		71	○いくつか選んで組み合わせるときの場合の数が何通りあるかを、順序よく整理して求めることができる。	・落ちや重なりのないように順序よく整理して、組み合わせ方を調べること	(知技)図や表を使って、落ちや重なりがないように組み合わせ方を調べて場合の数を求めることができる。《発言・ノート》
	2	72	○選ばないものに着目して、組み合わせ方が何通りあるかを考えることができる。	・補集合の考えが使える場合の組み合わせ	(思判表)選ぶものの組み合わせ方と選ばないものの組み合わせ方の関係に気づいている。《発言・ノート》 (知技)選ばないものの組み合わせ方を、表を使って求めることができる。《発言・ノート》
	3	73	○並べ方が何通りあるかを、順序よく整理して求めることができる。	・落ちや重なりがないように順序よく整理して、並べ方を調べること 《樹形図》	(知技)樹形図を使って、落ちや重なりがないように並べ方を調べて場合の数を求めることができる。《発言・ノート》 (態度)樹形図を使うと順序よく整理できるよさに気づき、生活や学習にいかそうとしている。《観察・ノート》

	4	74	○いくつか選んで並べるときの場合の数が何通りあるかを、順序よく整理して求めることができる。	・全体からいくつか取り出す場合の並べ方（重複順列を含む）	(思判表)組み合わせるときと並べるときの違いに気づき、調べ方を考えている。《観察・ノート》 (知技)樹形図を使って、いくつか選んで並べる並べ方を調べて場合の数を求めることができる。《発言・ノート》
●練習	5	75	○学習内容を確実に身につける。	・練習	
②いろいろな条件を考えて	6	76~77	○起こり得る場合を順序よく整理して、目的に合う場合を選ぶことができる。	・全ての場合を挙げてそれぞれの結果を調べ、条件にあうものをみつけて解く問題	(思判表)起こり得る場合を順序よく整理し、目的に合うものがどれかを考えたり説明したりしている。《発言・ノート》
	7	78	○起こり得る場合を順序よく整理して、目的に合う場合を選ぶことができる。	・同上で、2通りの考え方で解決できる問題	(思判表)起こり得る場合を図にかいて整理し、目的に合うものがどれかを考えたり説明したりしている。《発言・ノート》
	8	79	○起こり得る場合を分類、整理して、問題を解決することができる。	・場合の重なりを分類して考える問題	(思判表)起こり得る場合の重なりに着目して、それを分類・整理する方法を考えたり説明したりしている。《発言・ノート》
学びのまとめ	9	80~81	○学習内容の理解を確認する。	・たしかめよう、ふりかえろう、やってみよう	(知技)、(思判表)、(態度)

活 どんない計算になるのかな「日本の森林面積は？」

小単元	時	ページ	目 標	学習内容	おもな評価規準
●どんない計算になるのかな	1	82~83	○根拠にもとづいて、分数のかけ算やわり算の演算決定をすることができる。	・分数の乗除の立式	(思判表)演算決定の根拠を考えたり説明したりしている。《発言・ノート》

活 算数の自由研究

小単元	時	ページ	目 標	学習内容	おもな評価規準
●算数の自由研究	1	84~85	○「もようづくり」といった自由研究に取り組み、見通しをもって考える力や粘り強く取り組む態度を伸ばす。	・算数の自由研究	(思判表)見通しをもちながら、模様づくりの仕方を考えている。《観察》 (態度)模様づくりに意欲的に取り組み、作図の工夫の仕方を考えようとしている。《観察・発言》

* 復習

小単元	時	ページ	目 標	学習内容	おもな評価規準
	1	86~87	○既習事項の確認と持続	・復習	

7 円の面積

			目 標	指導時数・時期	
			○ 円の面積について、その求め方や公式を考えたり説明したりすることを通して、円や円弧を含む複合図形の面積を求めることができるようにするとともに、生活や学習に活用しようとする態度を養う。	5 時間 2 学期制：9 月上旬 3 学期制：9 月上旬	
			評 価		
			(知) ・円の面積の求め方や公式について理解し、円の面積や円弧を含む複合図形の面積を求めることができる。		
			(思) ・既習の図形の面積の求め方をもとに円の面積の見当のつけ方や求め方を考え、円の面積の公式を見いだしたり、公式を活用できるように円弧を含む複合図形をとらえたりしている。		
			(態) ・円の面積を求める活動にすすんで取り組み、ふり返りを通して面積の求め方や公式のよさに気づき、円や円弧を含む複合図形の面積を求める場面に適用するなど生活や学習にいかそうとしている。		
小単元	時	ページ	目 標	学習内容	おもな評価規準
じゅんび	—	243	○既習事項の理解を確認する。	・5 年「円と正多角形」	
(課題設定)	1	88	○円の面積の求め方を調べていくという単元の課題をつかむ。	・既習の平面図形の面積をふりかえることによる円の求積の動機づけ	(態度)正方形の面積を利用して、円のおよその面積を見当づけようとしている。《観察・ノート》
		89	○正方形の面積を利用して、円のおよその面積を見当づける。	・円の面積と、円の半径を1辺とした正方形の面積との比較	
	2	90~91	○方眼や円に内接する正六角形を利用して、円のおよその面積を見積もる。	・方眼や多角形を利用した円の面積の見当づけ	(思判表)方眼や内接する正多角形を用いて円のおよその面積の見当づけができることに気づき、図を使って見積もり方を考えたり説明したりしている。《発言・ノート》
	3	92~93	○円の面積の求め方を考え、求積公式を導く。	・円の面積の公式の導出と適用 《おうぎの形》	(思判表)円を変形してできた形を長方形ととらえて、円の求積公式を考えている。《ノート・発言》 (知技)公式を使って、円の面積を求めることができる。《ノート》

	4	94~95	○円弧を含む複合図形の面積の求め方を考える。	・円弧を含む複合図形の面積の求め方	(態度)面積の公式が利用できないかを考え、複合図形の形の特徴をとらえようとしている。《観察・ノート》 (思判表)円弧を含む複合図形の面積の求め方を考えたり説明したりしている。《発言・ノート》
学びのまとめ	5	96~97	○学習内容の理解を確認する。	・たしかめよう、ふりかえろう、やってみよう	(知技)、(思判表)、(態度)

8 立体の体積					
目 標				指導時数・時期	
○ 柱体の体積について、その求め方や公式を考えたり説明したりすることを通して、体積を求めることができるようにしたり立体図形の見方・考え方を深めたりするとともに、生活や学習に活用しようとする態度を養う。				5 時間 2 学期制：9 月中旬～9 月中旬 3 学期制：9 月中旬～9 月下旬	
評 価					
(知) ・柱体の体積の求め方とその公式を理解し、公式を使って柱体の体積を求めたり、複合図形の体積を求めたりすることができる。					
(思) ・直方体の体積の求め方をもとに、角柱や円柱の体積の求め方やその公式、また、複合図形の体積の求め方を考えている。					
(態) ・柱体の面積を求める活動に進んで取り組み、ふり返りを通して体積の求め方や公式のよさに気づき、複合図形を柱体と捉えて体積を求める場面に適用するなど生活や学習にいかそうとしている。					
小単元	時	ページ	目 標	学習内容	おもな評価規準
じゅんび	—	244	○既習事項の理解を確かめる。	・5 年「体積」「角柱と円柱」	
(課題設定)	1	98 99~100	○柱体の体積の求め方を調べていくという単元の課題をつかむ。 ○直方体やその半分の三角柱の体積が、(底面積)×(高さ)で求められることを理解する。	・既習の立体図形の体積をふりかえることによる柱体の求積の動機づけ ・四角柱(直方体)とその半分の三角柱の体積の求め方 《底面積》	(態度)既習の直方体の体積の求め方をもとに、角柱の体積を求めようとしている。《観察・ノート》 (知技)底面積の意味を理解し、(底面積)×(高さ)で直方体やその半分の三角柱の体積が求められることを理解している。《発言・ノート》
	2	101	○三角柱の体積が(底面積)×(高さ)で求められることを理解し、それをもとに角柱の体積の求め方を考えることができる。	・角柱の体積の求め方とその公式	(知技)(底面積)×(高さ)で三角柱の体積が求められることを理解している。《発言・ノート》 (思判表)角柱は三角柱に分割できることから、角柱の体積も(底面積)×(高さ)で求められることに気づいている。《観察・発言》
	3	102	○角柱の体積が(底面積)×(高さ)で求められることをもとに、円柱の体積の求め方を考えることができる。	・円柱の体積の求め方とその公式	(思判表)円柱を角柱ととらえて、円柱の体積の求め方を考えている。《ノート・発言》 (知技)(底面積)×(高さ)で円柱の体積が求められることができる。《発言・ノート》
	4	103	○複合図形を柱体ととらえて、(底面積)×(高さ)で体積を求めることができる。	・複合図形の体積の求め方	(態度)複合図形を柱体ととらえて、(底面積)×(高さ)で体積を求めようとしている。《発言・ノート》 (思判表)角柱や円柱の体積の公式をもとに、複合図形の面積の求め方を考えたり説明したりしている。《ノート・発言》
学びのまとめ	5	104~105	○学習内容の理解を確認する。	・たしかめよう、ふりかえろう、やってみよう	(知技)、(思判表)、(態度)

9 データの整理と活用					
目 標				指導時数・時期	
○ データの散らばりについて、ドットプロット・度数分布表・ヒストグラムを用いた分類・整理の仕方や代表値の意味を理解し、それをもとに事象の特徴を考察したり説明したりすることを通して、統計的に問題解決する力を育むとともに、その方法を生活や学習に活用しようとする態度を養う。				9 時間 2 学期制：9 月中旬～9 月下旬 3 学期制：9 月下旬～10 月上旬	
評 価					
(知) ・身のまわりの事象について、データの散らばりを表すにはドットプロット、度数分布表やヒストグラムを用いるとよいことを理解し、それらをよんだりつくったりすることや代表値を求めたりすることができる。また、統計的な問題解決の方法を理解している。					
(思) ・目的にあわせて、データの収集・整理の仕方を考えたり、代表値や表・グラフを適切に用いてデータの特徴を判断したりしている。また、得られた結果を多面的にとらえて結論について考察している。					
(態) ・データの散らばりについて進んで関わり、度数分布表やヒストグラムを使ってデータを整理することや結果を多面的にとらえることよさに気づき、統計的な問題解決を生活や学習にいかそうとしている。					
小単元	時	ページ	目 標	学習内容	おもな評価規準
じゅんび	—	244	○既習事項の理解を確かめる。	・3 年「表とグラフ」 ・5 年「平均とその利用」	

(課題設定) ①データの整理	1	106 107~108	○大縄とび大会の代表チームを選ぶために、データやその比べ方について考えていくという単元の課題をつかむ。	・データの散らばりの考察と学習の動機づけ ・平均値や最大値、最小値の比較 《平均値》	(態度)目的にあわせてデータの比べ方を考えようとしている。《発言・観察》 (知技)平均値の意味を理解している。《発言・観察》
	2	109	○ドットプロットについて知り、それを使ってデータの特徴を見出すことができる。	・ドットプロットを用いたちらばりの考察 《ドットプロット》	(知技)データの散らばりをドットプロットに整理することができる。《ノート》 (思判表)ドットプロットを使って、データの散らばりの特徴を考えたり説明したりしている。《発言・観察》
	3	110~111	○ドットプロットの考察を通して、中央値や最頻値の意味を理解し、それを使って資料の特徴を見出すことができる。	・代表値の意味と比較 《中央値、最頻値、代表値》	(知技)中央値、最頻値の意味を理解している。《発言・観察》 (態度)代表値を調べることの意義に気づき、代表値からデータの特徴をとらえようとしている。《発言・観察》
②ちらばりのようすを表す表・グラフ	4	112~113	○度数分布表について知り、それを使ってデータの特徴を見出すことができる。	・度数分布表を用いた散らばりの考察 《階級、度数分布表、度数、分布》	(知技)データの散らばりを度数分布表に整理することができる。《ノート》 (思判表)度数分布表を使って、データの特徴を考えたり説明したりしている。《発言・観察》
	5	114~116	○度数分布表をもとに、ヒストグラムをかくことができる。	・ヒストグラムに整理すること 《ヒストグラム、柱状グラフ》 ・度数分布表やヒストグラムの階級の幅を変えること	(知技)データの散らばりをヒストグラムに整理することができる。《ノート》 (思判表)ヒストグラムを使って、データの特徴を考えたり説明したりしている。《発言・観察》
	6	117	○これまでに調べてきたデータを整理して特徴を読み取り、結論について説明することができる。	・調べたことを整理して考察し、結論について説明すること	(思判表)様々な代表値をもとにデータの特徴を多面的にとらえ、結論について考察している。《発言・ノート》
	7	118~119	○統計的な問題解決の方法(PPDAC)について知り、身のまわりの課題解決にいかそうとする。	・統計的な問題解決の方法(PPDAC)	(態度)一連の統計的な問題解決の方法についてふり返り、生活や学習にいかそうとしている。《観察・発言》
	8	120~121	○複数のグラフから情報を適切に読み取ることができる。	・経年変化のヒストグラム ・複数のグラフを関連づけて考察すること	(思判表)複数のグラフを関連づけて、どのようなことがわかるかを考えたり説明したりしている。《発言・ノート》
学びのまとめ	9	122~123	○学習内容の理解を確認する。	・たしかめよう、ふりかえろう、やってみよう	(知技)、(思判表)、(態度)

思 見方・考え方を深めよう(1)「子ども会の準備」

目 標			指導時数・時期		
○ 文章題において、数量の関係を表に整理して条件に合う場合に着目して解法を考えることを通して、順序よく調べようどよい場合を見つける考え方をを使って解くことができるようにするとともに、用いた表や見方・考え方を生活や学習に活用しようとする態度を養う。			2時間 2学期制：10月上旬 3学期制：10月上旬		
評 価					
(知) 表を使ってすべての場合を順序よく整理し、調べることができる。					
(思) 表をもとにして、条件に合う場合を見つけたり、条件に合う場合のきまりを考えたりしている。					
(態) 表を使って考える問題解決に進んで関わり、ふり返りを通して順序よく表に整理して考えることよき気づき、生活や学習に生かそうとしている。					
小単元	時	ページ	目 標	学習内容	おもな評価規準
	1	124	○2つのものの組み合わせ方とその結果を表にかいて順序よく調べ、条件に合うときのきまりを見つけ、問題解決できる。	・表を使って順序よく調べ、条件にあうすべての場合をみつけて解く問題	(態度)いろいろな場合があることに気づき、順序よく整理して考えようとしている。《発言・ノート》 (知技)表を使って順序よく調べ、きまりを見つけ解くことができる。《観察・ノート》
	2	125	○2つのものの組み合わせ方とその結果を表にかいて順序よく調べ、条件に合う場合を見つけだして問題解決できる。	・表を使って順序よく調べ、条件にあう場合をみつけて解く問題	(思判表)表を使って順序よく調べて、条件に合う場合を考えたり説明したりしている。《観察・ノート》

* 復習

小単元	時	ページ	目標	学習内容	おもな評価規準
	1	126~127	○既習事項の確認と持続	・復習	

10 比とその利用

目 標					指導時数・時期
○ 比について、その表し方や比の値、等しい比の意味を理解し、割合が比で表された問題を解決することを通して、割合の見方・考え方を深めるとともに生活や学習に活用しようとする態度を養う。					8時間 2学期制：10月中旬～10月下旬 3学期制：10月中旬～10月下旬
評 価					
(知) ・比の意味と表し方を理解し、比を用いて表したり、等しい比を見つけて比を簡単にしたりすることができる。 (思) ・数量の関係に着目し、比と一方の量からもう一方の量を求めたり、全体の量をきまった比に分けたりする方法を考えている。 (態) ・比に進んで関わり、ふり返りを通して比を用いて数量の関係を表すことよき気づき、生活や学習にいかそうとしている。					
小単元	時	ページ	目 標	学習内容	おもな評価規準
じゅんぴ	—	244	○既習事項の理解を確かめる。	・5年「割合」「分数」 ・6年「分数÷分数」	
(課題設定)	1	128	○2つの数量の大きさの割合の表し方を調べていくという単元の課題をつかむ。 ○比の意味とその表し方を理解する。	・混ぜた割合の表し方を考えることによる比の動機づけ ・比を使った割合の表し方、比の意味 《：、比》	(知技)比を用いて2つの数量の大きさの割合を表すことができる。《ノート》 (態度)身のまわりで比がどのように用いられているかに関心をもち、見つけようとしている。《観察・発言》
①比		129			
①等しい比	2	130～131	○比の値や比が等しいことの意味を理解し、比の値を求めたり、比が等しいかどうかを調べたりすることができる。	・比が等しいことの意味、比の値の意味 《比の値》	(知技)比の値の意味や比が等しいことの意味を理解している。《ノート・発言》
	3	132～133	○等しい比の性質について理解し、それを用いて比を簡単にすることができる。	・等しい比の性質 《比を簡単にする》	(知技)等しい比の性質について理解している。《観察・発言》 (思判表)等しい比の意味や性質をもとに、比を簡単にする方法を考えたり説明したりしている。《ノート・発言》
	4	134	○小数や分数を使って比を表し、それを簡単な整数の比にすることができる。	・数量が小数や分数で表されたときの比と比の値	(知技)小数の比や分数の比を簡単な整数の比にすることができる。《ノート》 (態度)数量の関係を整数の比で表すことよき気づき、生活や学習にいかそうとしている。《観察・発言》
●練習	5	135	○学習内容を確実に身につける。	・練習	
③比を使った問題	6	136	○比と一方の値から、もう一方の値を求めることができる。	・比を使った割合の問題	(思判表)与えられた比をもとに、2つの量の間を関を式に表して考えたり説明したりしている。《発言・ノート》
	7	137	○ある量をきまった比に分けたときのそれぞれの量を求めることができる。	・全体を決まった比に分ける問題	(思判表)与えられた比をもとに、全体の大きさにあたる割合をとらえて分けたときの量を求めている。《発言・ノート》
学びのまとめ	8	138～139	○学習内容の理解を確認する。	・たしかめよう、ふりかえろう、やってみよう	(知技)、(思判表)、(態度)

11 図形の拡大と縮小

目 標					指導時数・時期
○ 図形の拡大・縮小について、図形の間を考察する活動を通して拡大・縮小の意味を理解し、拡大図・縮小図の性質や作図の仕方を考えたり縮小図を用いて距離を調べたりすることを通して、平面図形についての理解を深めるとともに生活や学習に活用しようとする態度を養う。					9時間 2学期制：11月上旬～11月中旬 3学期制：11月上旬～11月中旬
評 価					
(知) ・図形の拡大や縮小の意味を理解し、頂点、辺、角の対照を見つけて拡大図・縮小図を作図することができる。 (思) ・拡大や縮小の観点から既習の基本図形の性質を考えたり、拡大図・縮小図の作図の仕方や形を考えたり説明したりしている。 (態) ・平面図形の形や大きさに進んで関わり、ふり返りを通して構成要素に着目することよき気づき、生活や学習にいかそうとしている。					
小単元	時	ページ	目 標	学習内容	おもな評価規準
じゅんぴ	—	244	○既習事項の理解を確かめる。	・5年「合同な図形」	
(課題設定)	1	140	○方眼上にかかれた図形の間を考察することを通して、拡大・縮小の意味を理解し、単元の課題をつかむ。	・図形の拡大・縮小の意味 ・拡大する・縮小することの意味 《拡大、縮小》	(態度)図形の形に着目し、方眼を使って形が同じといえるかを考えようとしている。《観察》 (知技)拡大、縮小することの意味を理解している。《発言・観察》
①拡大図と縮小図		141			

	2	142~143	○形が同じ 2 つの図形の辺、角の対応を調べ、対応する辺の長さや角の大きさの関係を理解する。	・形が同じ図形(相似)における構成要素の対応関係 ・拡大図・縮図という用語の定義 《拡大図、縮図》	(知技)対応する頂点、辺、角を見つけ、辺の比や角が等しいことを調べることができる。《ノート》 (思判表)頂点や辺の対応に着目して、形が同じ図形かどうかを判断し、その理由を説明している。《発言・ノート》
②拡大図と縮図のかき方	3	144	○方眼を使って、図形の拡大図・縮図をかくことができる。	・方眼紙を使った拡大図・縮図のかき方	(知技)方眼の目の数を利用して、拡大図や縮図をかくことができる。《ノート・観察》
	4	145	○合同な三角形のかき方をもとに、三角形の拡大図・縮図のかき方を考えることができる。	・三角形の拡大図・縮図の作図	(態度)合同な三角形のかき方をもとに三角形の拡大図・縮図のかき方を考えればよいことに気づいている。《ノート・発言》 (知技)三角形の拡大図、縮図をかくことができる。《ノート》
	5	146	○三角形の拡大図・縮図のかき方をもとにして、四角形の拡大図・縮図のかき方を考えることができる。	・四角形の拡大図、縮図の作図	(思判表)三角形の拡大図・縮図のかき方をもとに、四角形の拡大・縮図のかき方を考えたり説明したりしている。《ノート・発言》
	6	147~148	○1つの点を中心にして、拡大図・縮図をかくことができる。	・1つの点を中心にした拡大図・縮図のかき方	(思判表)1つの点を中心にするかき方は、角の大きさが変わらないことを利用していることに気づいている。《発言・ノート》 (知技)1つの点を中心にして、拡大図・縮図をかくことができる。《ノート》
	7	149	○形が同じかどうかの観点から既習の図形をとらえ直し、拡大・縮小の関係にあるかを考える。	・基本図形における拡大・縮小の関係の考察	(思判表)基本図形の性質から、どれも形が同じといえるかどうかを判断している。《発言・ノート》 (態度)拡大・縮小の関係をふり返り、形が同じかどうかに着目して図形の特徴をとらえることのよさに気づき、生活や学習にいかそうとしている。《発言・観察》
③縮図の利用	8	150~151	○縮図を利用して、直接測定できない2点間の距離を求めることができる。	・縮図を利用した測定 《縮尺》	(知技)縮図を利用した2点間の距離の求め方を理解している。《観察・ノート》
学びのまとめ	9	152~153	○学習内容の理解を確認する。	・たしかめよう、ふりかえろう、やってみよう	(知技)、(思判表)、(態度)

12 比例と反比例

12 比例と反比例					
目 標					指導時数・時期
○ 伴って変わる2つの数量について、比例や反比例の意味を理解し、その変化の様子や関係を式、表、グラフを用いて調べたり考えたりすることを通して、関数的な見方・考え方を深めるとともに、生活や学習に活用しようとする態度を養う。					14 時間 2 学期制：11月中旬～12月中旬 3 学期制：11月中旬～12月中旬
評 価					
(知) ・比例や反比例の意味や性質を理解し、比例や反比例の関係を、式や表、グラフに表すことができる。					
(思) ・数量の変わり方や関係に着目して比例や反比例する事象について考えたり、比例関係を利用して問題を解決したりしている。					
(態) ・比例や反比例の関係を考察することに進んで関わり、ふり返りを通してに数量の関係を、式や表、グラフに表すことのよさに気づき、生活や学習にいかそうとしている。					
小単元	時	ページ	目 標	学習内容	おもな評価規準
じゅんぴ	—	245	○既習事項の理解を確かめる。	・6年「文字と式」	
(課題設定)	1	154	○いろいろな伴って変わる2つの数量の関係を調べることを通して、単元の課題をつかむ。	・伴って変わる2つの数量をみつけることによる比例の動機づけ	(態度)具体事象から伴って変わる2つの数量を見だし、その変わり方の特徴を調べようとしている。《発言・観察》
①比例		155~156	○比例する2量の変化を詳しく調べ、比例の意味と性質について理解することができる。	・比例の定義と比例しているかどうかの判断 《比例》	(知技)表を横に見てxとyの変わり方を順や逆に調べ、比例の関係をとらえることができる。《発言・ノート》
	2	157~158	○比例する2量の関係を調べ、2量の商が一定であることを理解する。	・比例する2つの数量の変化(xを1/2倍、1/3倍、…したときのy)と対応(商一定)	(知技)表を縦に見てxとyの商が一定であることを理解している。《発言・ノート》
	3	159	○比例する2量の関係を式に表すことができる。	・比例の関係を式に表すこと	(知技)きまった数を求め、比例する2量の関係を式に表すことができる。《発言・ノート》

	4	160～162	○比例の式をもとにグラフをかき、その特徴を理解する。	・比例の関係の式からグラフに表すこと	(知技)比例の式から対応するxとyの値の組を求め、グラフに表すことができる。《観察・ノート》 (思判表)比例のグラフの特徴をとらえたり説明したりしている。《発言・ノート》
	5	163	○比例する2量の関係を、式に表したりグラフに表したりすることができる。	・比例の関係を式やグラフに表すこと	(態度)比例のグラフの特徴に着目して、式からグラフに表そうとしている。《観察・ノート》
	6	164～165	○伴って変わる2量を見つけ、表、式、グラフを使って変化や関係をとらえ、比例しているかどうかを判断することができる。	・比例の関係をみつけ、それを式やグラフで考察すること ・表やグラフから比例定数をよみとること	(思判表)伴って変わる2量の変化や関係を、表、式、グラフを使って考察し、比例しているかどうかを判断したり説明したりしている。《発言・ノート》 (態度)表、式、グラフを関連づけて、比例について深く理解しようとしている。《発言・観察》
	7	166～167	○比例のグラフを読み取ることができる。	・比例のグラフなどの考察	(知技)グラフの特徴をとらえて、2量が比例していることや値の対応を読み取ることができる。《発言・ノート》 (思判表)比例していることをもとに、グラフにない部分について考えたり説明したりしている。《発言・ノート》
	8	168～169	○2本の比例のグラフから、いろいろな事柄を読み取ることができる。	・2本の比例のグラフをよみ取る問題	(思判表)変わり方の違いや対応する値の差に着目し、2本の比例のグラフからどんなことがわかるかを考えたり説明したりしている。《発言・ノート》
②比例を使って	9・10	170～171	○比例関係を利用して、工夫して全体のおよその数を求めることができる。	・比例関係を利用して解く問題	(態度)比例関係に着目すると手際よく全体の数量の見当をつけることができるよさに気づき、生活や学習にいかそうとしている。《発言・ノート》
●練習 (課題設定)	11	172～173	○学習内容を確実に身につける。	・練習	
③反比例	12	174	○反比例する2量の変化や関係を調べ、反比例の意味や性質を理解する。	・反比例の関係を学習する動機づけ ・反比例の定義 《反比例》	(態度)比例との違いに気づき、表を横や縦に見て反比例する2量の変化や関係をとらえようとしている。《観察・ノート》 (知技)表を縦に見てxとyの積が一定であることを理解している。《発言・ノート》
	13	177	○反比例する2量の関係を式に表すことができる。	・反比例の関係を式に表すこと	(知技)きまった数を求め、反比例する2量の関係を式に表すことができる。《発言・ノート》
	14	178～179	○反比例の式をもとにグラフをかき、その特徴を理解する。	・反比例の関係の式からグラフに表すこと	(知技)反比例の式から対応するxとyの値の組を求め、グラフに表すことができる。《観察・ノート》 (思判表)反比例のグラフの特徴をとらえたり説明したりしている。《発言・ノート》
学びのまとめ	15	180～181	○学習内容の理解を確認する。	・たしかめよう、ふりかえろう	(知技)、(思判表)、(態度)

思 見方・考え方を深めよう(2)「ぴったりを探せ！」

目 標				指導時数・時期	
○ 文章題において、数量の変化を表に整理してその和や差に着目して解法を考えることを通して、変わり方のきまりを見つける考え方を使得解くことができるようにするとともに、用いた表や見方・考え方を生活や学習に活用しようとする態度を養う。				2時間 2学期制：12月中旬 3学期制：12月中旬	
評 価					
(知) ・2つの数量の関係やその和や差の変化を表に整理することができる。 (思) ・表をもとに考え、変化する2つの数量の和や差に着目し、これを活用して問題を解決している。 (態) ・表を使って考える問題解決に進んで関わり、ふり返りを通して結果の見通しを立てて表に整理することのよさに気づき、生活や学習に生かそうとしている。					
小単元	時	ページ	目 標	学習内容	おもな評価規準
	1	182	○2つの数量を順に変化させて、その和の変わり方のきまりを見つけて問題を解くことができる。	・変化する2つの数量の和に着目して、変わり方のきまりをみつけて解く問題	(思判表)変化の様子に着目し、表を使って変わり方を調べている。《発言・ノート》 (知技)変わり方のきまりを見つけて解くことができる。《観察・ノート》

	2	183	○2つの数量を適当なところから順に変化させて、その差の変わり方のきまりを見つけて問題を解くことができる。	・変化する2つの数量の差に着目して、変わり方のきまりをみつけて解く問題	(態度)結果の見通しを立ててから、表にかいて変わり方を調べようとしている。《発言・ノート》
--	---	-----	--	-------------------------------------	---

活 見積もりを使って「食といのち」

小単元	時	ページ	目 標	学習内容	おもな評価規準
●見積もりを使って	1	184	○切り上げや切り捨てを使って結果を見積もり、判断することができる。	・切り上げや切り捨てを使った見積もり	(思判表)切り上げや切り捨てを使って結果を見積もり、実際の数量がそれより大きいか小さいかを判断することができる。《発言・ノート》
	2	185	○簡単に計算できるように切り上げや切り捨てを使って結果を見積もり、判断することができる。	・計算の工夫を伴う切り上げや切り捨てを使った見積もり	(思判表)簡単な計算で結果を見積もれるように、切り上げや切り捨ての利用の仕方を考えたり説明したりしている。《発言・ノート》

活 わくわくプログラミング

小単元	時	ページ	目 標	学習内容	おもな評価規準
●わくわくプログラミング	1	186～187	○変数の演算子と整除の条件判定の命令を組み合わせて、ある数の倍数を見つけるプログラムをつくることができる。	・条件分岐による倍数をみつけるプログラミング	(態度)プログラムをつくることに関心をもち、いろいろ試しながら取り組んでいこうとしている。《観察・発言》 (思判表)倍数の性質に着目すればよいことに気づき、順序立ててどのようなプログラムにすればよいかを考えたり、説明したりしている。《観察・発言》

* 復習

小単元	時	ページ	目 標	学習内容	おもな評価規準
	1	188～189	○既習事項の確認と持続	・復習	

13 およその形と大きさ

目 標				指導時数・時期	
○ものの概形のとらえ方やメートル法の仕組みについて理解し、およその面積や体積の求め方を考えたり単位の間を統合的にとらえたりすることを通して、ものの形や数量の大きさの見方・考え方を深めたりするとともに、生活や学習に活用しようとする態度を養う。				4時間 2学期制：1月上旬 3学期制：1月上旬	
評 価					
(知)・身のまわりのものの概形をとらえて、そのおよその面積や体積を手際よく求める方法を理解し、概測することができる。また、メートル法の仕組みについての理解を深める。					
(思)・身のまわりのものの概形をとらえ、およその面積や体積の求め方を考えている。また、長さや面積・体積の関係を調べたり、単位の接頭語の意味を考えたりしている。					
(態)・ものの形や大きさの考察に進んで関わり、ふり返りを通してものの概形をとらえることやメートル法の仕組みのよさに気づき、生活や学習に生かそうとしている。					
小単元	時	ページ	目 標	学習内容	おもな評価規準
じゅんび	—	245	○既習事項の理解を確かめる。	・5年「面積」 ・6年「立体の体積」	
(課題設定) ①およその形と面積	1	190 191	○概形をとらえて、およその面積を求めることができる。	・概測の学習の動機づけ ・平面的に概形をとらえて面積を概測すること	(態度)およその面積の求め方に関心をもち、既知の求積公式をもとにして考えようとしている。《観察・発言》 (思判表)求積公式がわかる図形として概形をとらえ、およその面積の求め方を考えている。《観察・ノート》
②およその体積	2	192～193	○概形をとらえて、およその体積を求めることができる。	・立体的に概形をとらえて体積を概測すること ・水に置き換えて体積をはかる方法 ・見積もりの工夫	(知技)求積公式がわかる図形として概形をとらえ、体積を求めることができる。《ノート》
(課題設定) ①単位の間関係	3	194 195	○これまでに学習してきた単位測定器具を想起し、単位の仕組みに関心をもち。 ○メートル法の単位についている接頭語の意味を理解する。	・単位についてまとめる学習の動機づけ ・単位の記号の意味のまとめ	(態度)これまでに学習した量の単位や計器をふり返り、理解を深めようとしている。《観察・発言》 (知技)メートル法の単位の接頭語の意味を理解している。《ノート》
	4	196～197	○長さや面積・体積の単位間関係を整理することができる。	・長さや面積・体積の単位のまとめ ・水1Lが1kgであること	(知技)長さが10倍になると、面積は100倍、体積は1000倍になることを深く理解している。《観察・ノート》

思 見方・考え方を深めよう(3)「よい、スタート！」

目 標		指導時数・時期			
○ 仕事の速さの文章題において、問題場面を図に表して全体と部分の割合に着目して解法を考えることを通して、全体を1として割合の考えを使って解くことができるようにするとともに、用いた図や見方・考え方を生活や学習に活用しようとする態度を養う。		2 時間 2 学期制：1 月中旬 3 学期制：1 月中旬			
評 価					
(知) ・ある仕事にかかる時間を、仕事全体の割合を1として線分図に表すことができる。 (思) ・線分図をもとに、仕事全体の割合を1としたときに各部分の割合がどれだけにあたるかを考えている。 (態) ・仕事の速さに関する問題解決に進んで関わり、ふり返りを通して数量の関係図に整理して考えることや全体を1として考えることよき気づき、生活や学習に生かそうとしている。					
小単元	時	ページ	目 標	学習内容	おもな評価規準
	1	198～199	○全体を1とし、部分の割合の和を考えて、問題を解くことができる。	・全体を1とし、部分の割合の和を考えて解く問題	(態度)解決の見通しを立てるのに、問題場面を絵や図にかこうとしている。《発言・観察》 (知技)問題場面を線分図にかき、仕事全体の割合を1とすることの意味を理解している。《ノート》
	2	200～201	○全体を1とし、部分の割合の組み合わせを考えて、問題を解くことができる。	・全体を1とし、全体と部分の割合の差を考えて解く問題	(思判表)問題場面を線分図にかき、仕事全体の割合を1として部分の割合がどうなるかを考え、問題を解決している。《観察・ノート》

活 すごろく

小単元	時	ページ	目 標	学習内容	おもな評価規準
すごろく	1	202～203	○与えられた情報をもとに仮説を立て、それを検証して問題を解くことができる。	・論理的思考に基づく判断	(態度)情報を整理し、順序立てて考えていこうとしている。《ノート・発言》 (思判表)情報をもとに仮説を立て、それが正しいといえるかを考えて問題を解決している。《ノート・発言》

活 わくわく SDGs「水害に備えようプロジェクト」

小単元	時	ページ	目 標	学習内容	おもな評価規準
●わくわく SDGs	1	204～207	○表やグラフなどの資料から必要な情報を選択し、水害についての課題について考えることができる。 ○水害の対策について話し合い、課題解決に向けた計画を考えることができる。	・集めたデータを活用した問題の発見と解決	(知技)文章、表、グラフから問題を解くのに必要な情報を選択することができる。《発言・ノート》 (思判表)文章、表、グラフを関連づけて考えたり説明したりしている。《発言・ノート》 (態度)算数で学んだことをいかして、自身の生活や地域社会のことを見直そうとしている。《観察・ノート》

* 6年のまとめ(数学へのパスポート)

ページ	学習内容	指導時数・時期
208～229	1 数と式 2 計算と見積もり 3 図形と量 4 変化と関係 5 データの活用 6 問題の見方・考え方 「数学へのとびら」	15 時間 2 学期制：2 月中旬～3 月中旬 3 学期制：2 月中旬～3 月中旬

★ 未来へのとびら(お仕事インタビュー)

ページ	学習内容	指導時数
230～240	・ミニチュアアーティスト ・情報科学者 ・スポーツデータ研究者 ・ロボットエンジニア	時間配当なし

★ 学びのサポート

ページ	学習内容	指導時数
242～245	・じゅんぴ	
256～257	・もつと練習	
258～270	・答え、図のかき方、学びをつなげよう、さくいん	

※巻末にある「学びのサポート」は、少人数学習や自学自習など柔軟な扱いができるように時間配当をしていません。

すべての児童が一律に学習する必要はありません。